

第4章 デジタル技術の活用について

個人の生活にも浸透しているデジタル技術ですが、近年、住民組織向けに作られているものも多くあります。

ここでは、住民組織が行う地域活動の利便性向上や負担軽減のため、活用が考えられるデジタル技術の一部について紹介します。



掲示板、電子回覧等 ～一斉に情報をお知らせできる～

サービス名	提供事業者	有料/無料	主な機能
公式 LINE	LINE ヤフー	無料版は配信回数等に制限あり	回覧板
My 自治会	大東建託	2027年3月末まで無料	回覧板、アンケート、集金(有料)
Cocban (コクバン)	Cocban (広島市立大学のチャレンジ事業)	無料版あり 有料は安否確認やグループ分け機能あり	回覧板、投稿 アンケート(有料版)、安否確認(有料版)
LOCOHUB (ロコハブ)	株式会社 Rabbit	令和7年度中は無償利用期間(要申込)	回覧板、集金



資料の共有等 ～紙や USB 以外でも資料を共有できる～

サービス名	内容
Google ドキュメント	ワードのような画面で文書の作成、編集ができます。URLを共有することで同じ文書の閲覧、編集ができます。
Google ドライブ	ファイルを保存してURLを伝えることで文書などを共有できます。



オンライン会議～対面じゃなくても会議ができる～

01 住民組織

02 市の支援

03 住民組織の法人化

04 デジタル技術の活用

05 住民組織のあんな時こんな時

サービス名	内容
Microsoft Teams (チームズ)	無料版で1回につき最大60分利用できます。
Zoom (ズーム)	無料版で1回につき最大40分利用できます。
LINE	グループでビデオ通話を行うことができます。



安全にデジタル技術を使うためのルールを決めましょう！

みなさんが便利に活動するためのデジタル技術ですが、トラブルを避けるためのルール作りが必要です。
お互いを尊重し、節度を守って使うためのルールの例を紹介します。

種類	ルールの例、注意点
掲示板、電子回覧等	<ul style="list-style-type: none"> 書き込む内容を決めておく（活動の連絡、回覧文書など） 投稿のルールを決める（定期連絡のスケジュール、時間帯）
LINE グループなど	<ul style="list-style-type: none"> 無断で個人宛に LINE を送らない 特定の個人のことを書かない 住民組織外の人を無断で招待しない
その他	<ul style="list-style-type: none"> 総会資料や決算書データなど、USB メモリ等での受け渡しは最小限にする データの保存年限を決めておく

ちょっとご紹介／

住民組織の加入者増加に向けた市の取り組み

○町内会・自治会等加入案内リーフレットの配布

市外から引っ越してきた人について、市では転入手続きの際にリーフレットを配布しています。



両面（短辺とじ）印刷して、
点線のように3つ折りにできます



町内会名、連絡先等書き込みできます

市のHPには、住民組織で直接行う声かけなどに活用できるように、住民組織名を記載できるバージョンと活動や写真を個別に載せることができるバージョンも掲載しています。

二次元コードからそれぞれダウンロードできるので、ぜひご活用ください。



市のHP→

